

令和 6 年度 学校法人藤枝学園事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日至 令和 7 年 3 月 31 日

I 学校法人の概要

1 目的

学校法人藤枝学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、仏教の教義に基づき学校教育を行う。

2 設置学校及び生徒園児在籍状況

(1) 設置学校

- ア 藤枝順心高等学校
全日制課程、普通科
- イ 藤枝明誠高等学校
全日制課程、普通科、英数科
- ウ 藤枝順心中学校
- エ 藤枝明誠中学校
- オ 藤枝順心高等学校附属幼稚園

(2) 生徒園児在籍状況（令和 6 年 5 月 1 日現在）

学 校 名	在 籍 合 計 (人)
藤枝順心高等学校	3 5 6
藤枝明誠高等学校	1, 0 4 0
藤枝順心中学校	4 9
藤枝明誠中学校	1 9 5
藤枝順心高等学校附属幼稚園	3 2 6
学校法人計	1, 9 6 6

3 役員・教職員の状況

(1) 役員の状況（令和 6 年 4 月 1 日現在）

理事 7 人

- 理事長 仲田晃弘
- 理事 戸田雪子
- 理事 青島克郎
- 理事 仲田 務
- 理事 松田真彦
- 理事 甲賀美智子
- 理事 内山知三

監事 3人

監事 畑 正規

監事 森下登志美

監事 加藤友夫

(2) 役員会開催状況

ア 令和6年5月30日(木)

イ 令和6年10月29日(火)

ウ 令和7年1月30日(木)

エ 令和7年3月27日(木)

(3) 教職員の状況(令和6年4月1日現在)

区 分	人 員	備 考
管理職	11人	教育職9 事務職2
幼稚園・中学校・高等学校教員	117人	除 教育職管理職員9人
非常勤講師	98人	
事務職員	22人	除 事務職管理職員2名
非常勤事務職員	7人	
合 計	255人	

II 事業概要

1 令和6年度経営方針

学園創立の精神である仏典修証義「第4章発願利生」の一節にある「自未得度先度他」の教えを基軸として、藤枝順心中学校・高等学校、藤枝明誠中学校・高等学校、藤枝順心高等学校附属幼稚園がそれぞれの特性を十分発揮することにより、地域に密着し、地域に愛され認められる教育活動を展開するよう取り組む。

藤枝順心中学校・高等学校においては、校訓である「自覚」を、人として備えるべき条件、あるいは資格、そして、自立するための学びであり、常に忘れず、怠らず励むこととして目指し、「梅、寒苦を経て清香を発す」という白梅精神「清楚・芳香・忍耐」を教育目標に掲げて、「女性の自律・自主と先度他の心の涵養」を願いとして女子教育に取り組む。

藤枝明誠中学校・高等学校では、校訓「初心忘るべからず」に従い、初学の志、創建の心を守り、学の中道、物事の中途において常に反省に立ち、初一念の振起につとめている。

また、学園の綱領に基づく教育活動により、知・徳・体を錬成し調和ある人間像を確立することを教育目標としている。

藤枝順心高等学校附属幼稚園においては、創立者の教育方針「強く、明るく」の精神を踏まえて、幼児一人一人の発達特性に応じ、環境とかかわらせながら幼児教育にふさわしい生活体験を通じて、心身ともに健やかな成長発達を図ることを目指して教育活動を推進する。

教育目標を「豊かな心とたくましい体をもった子」として、思いやりのある子、がんばりのきく子、挨拶のできる子を育てる。そのため、以下を実践する。

- ・ 子どもの理解に努め、一人一人の発達特性や個に応じた指導をする。
- ・ 様々な経験を通して、環境への関心を高めていく保育を進める。
- ・ 社会の変化や地域の要請に応え、保護者との連携を密にして保育を進める。
- ・ 小学校教育との結びつきを図るため、地域の小学校との連携を進める。

2 各部門の事業概要

(1) 藤枝順心中学校

学習と部活動において、中学校教育から高等学校教育へとスムーズに移行する中高一貫教育を通して、本校のエレガントプランを体現した生徒を育成する。中学3年間の前期課程として、5教科を中心に学習習慣の定着を図りつつ、総合学習の「茶道」など、本校独自のカリキュラムを通して「和」の精神と美しい挙措を学ぶ。高校3年間の後期課程を見据え、国際的視点を持った女性リーダー育成を目標として、英語授業では(ネイティブ講師を含む)チームティーチングを実施し、生徒の学習を多面的に支援している。

同じ階で生活する高校生の先輩を手本としながら、学習・部活動ともに励むことができる環境が整っている。

○ 部活動の実績

バレーボール部

中部地区中学校秋季選手権大会	優勝
----------------	----

バスケットボール部

静岡県 U・14 新人バスケットボール選手権大会	準優勝
--------------------------	-----

県中学校総合体育大会	第3位
------------	-----

柔道部

全国中学校柔道大会	団体の部	ベスト16
-----------	------	-------

同	個人の部	40 kg級	第3位
---	------	--------	-----

52 kg級	第2回戦出場
--------	--------

57 kg級	第3位
--------	-----

63 kg級	第3位
--------	-----

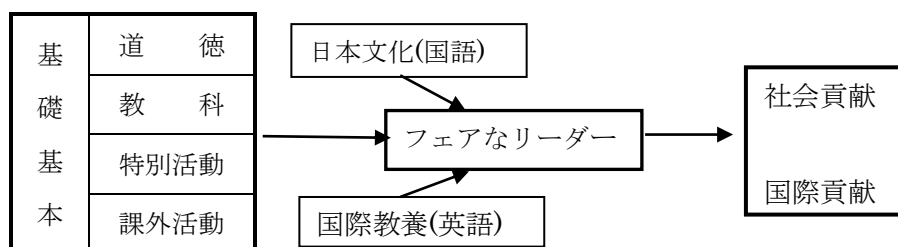
(2) 藤枝明誠中学校

教える者と教えられる者との相互信頼に基づき、高度に知・徳・体のバランスのとれた人格を形成し、国際化、情報化のフロンランナーとして、社会貢献、国際貢献のできるフェアなリーダーを育成した。

リーダー像

- ・ 地・徳・体がバランスよく備わった人物
- ・ 視野が広く、先見性を持ち社会、組織、地域で一流のリーダーとなれる人物
- ・ 旧帝大や国公立大学医学部をはじめとする学ぶ環境の良い大学に進学できる人物

イメージ図



○文芸活動の実績

- ・ TOEIC SCORE 950 1名
- ・ 英検 準1級 1名
- ・ 第41回山崎賞（自然科学研究）受賞
「昆虫の触覚」の研究 J3 1名
- ・ TWICE RESEARCH INSTITUTE 社主催
TWICE AWARD（探究学習発表の全国大会）出場
「ワールドツアーズ部門」 J1 2チーム
「企業インターン部門」 J3 2チーム 内1チーム「明治」賞受賞

（3）藤枝順心高等学校

令和6年度、普通科の単科の下、卒業後の進路の方向により、「キャリア創造(進学)コース」、「地域共生(就職)コース」の2コース、主要な学習の内容により、「特別進学」「総合進学」「美術デザイン」「情報ビジネス」「クックデザイン」の5スタイルに分かれて教育活動を展開する『普通科単科、2コース、5スタイル制』が完成した。

具体的な教育活動の展開は、以下のとおりである。

- ア 人間の可能性を一人ひとりの中から引き出し、能動的・効果的に女子の成長を促

す教育活動を、藤枝学園の建学の精神に則って展開する。

イ 日常生活、学校・学年行事の中で、しなやかな礼法が身にそなわるよう、分掌毎に工夫・配慮し、多角的な場面を設定して実践指導に努める。

ウ 「全スタイル共通科目」では、柔軟な学習活動を展開し、学力の充実・定着を図り、「特徴あるスタイル科目」では、それぞれの具体的な計画により、実践中心の教育活動を展開する。

エ ICT 機器を活用した授業を積極的に展開するとともに、教育技術の向上のため、職員の情報交換を活発にする研究授業を計画的に実施する。

オ 本校の教育方針・教育実践・教育成果の情報を、小学校・中学校の進路担当者及び保護者に発信し、生徒・保護者へのわかりやすい、魅力ある広報活動により、本校への就学に繋げる。

普通科

【特別進学スタイル】

英語に重点を置いた授業内容や学習体験で、世界にはばたく女性に必要なグローバルな視野や思考を身につける。大学入試共通テストを受験することを念頭に、国公立大学、難関私立大学合格を目指す。ICT 機器を活用した授業展開を通じ、十分な授業時間を確保し学力伸長に努めた。2年度から文系コースと理系コースに分かれ、それぞれの進路にあったカリキュラムで受験に備えた。

【総合進学スタイル】

主要5教科を中心に基礎から応用まで学び、大手予備校等の模擬試験にも挑戦し、実力を身につける。四年制大学への進学を重点に置いているが、看護医療系、保育系、栄養系については短期大学や専門学校まで幅広く進路選択ができる。総合型選抜入試及び学校推薦型入試で受験する生徒が多いため、部活動や生徒会活動等で実績を積み、進路に臨むコースである。上記の入試は近年多岐にわたっているため、個別指導を充実させながら学科試験、小論文、面接指導を行い受験に備えてきた。

【情報ビジネススタイル】

卒業後、事務関係や販売・サービスなどの職場で活躍を目指す生徒の育成を目標としている。様々な職場で対応できるようビジネスの基礎知識や技術の習得を目指し学習に取り組んだ。簿記学習では「日本商工会議所主催簿記検定3級」と「全国商業高等学校協会主催簿記実務検定1級(会計)」の取得を目標とし、情報処理学習では「日本情報処理検定協会主催検定5種目1級」の取得を目指している。また、「ビジネスマナー」や「商品流通のしくみ」「売買に関する計算」などを学習することで、様々な職種で働くことができるように学習を進めた。2年次からは、(1) 簿記を中心に学習を進めるビジネス会計コース、(2) パソコンのビジネスソフトを中心に学習を進めるビジネス文書コース、に分かれて、専門的な知識の習得に取り組んだ。

【クックデザインスタイル】

西洋料理を中心として、製菓、製パンを含めた調理実習を行った。一人ひとりで作品を作り、参加するコンクールを各学年で実施し、技術と「できるようになる」ためのノウハウを習得させるよう努めた。また、実習を通して注意力、判断力、実行力を身につけることを目指している。

【美術デザインスタイル】

絵画、工芸、デザインの技術的レベルアップを図り、将来社会で通用するデザインなどの美術系専門職を目指し、基礎力から実践力まで養成することを目指している。専門分野の素描、絵画、ビジュアルデザイン、コンピュータ造形等の時間を多く設定し2年次からビジュアルデザイン専攻と絵画専攻に分けて専門的な授業を行っている。また、実社会のデザイン職に対応できるよう映像表現の授業では、イラストレーター、フォトショップの操作を習得し、スタイルの独自性を発揮している。

また、6年度に文部科学省の「高等学校 DX 加速化推進事業」に採択され、当スタイル生徒を、デジタル社会を支える高度なデジタル人材として育成すべく取り組んだ。ハイスペックパソコン、3D プリンターの整備をはじめ、外部講師を招いた特別講座を開設し授業に取り組んだ。

○ 進路(合格)の状況(現年生のみ)

4年制大学 43名(延べ)

静岡県立大学 1 静岡文化芸術大学 1

立教大学 1 関西大学 1 日本大学 1 東洋大学 1 常葉大学 4 駒沢大学 1

静岡英和学院大学 1 静岡産業大学 2 など

短期大学 1名

常葉大学短大部 1

専門学校 53名

就 職 38名

○ 部活動の実績

コーラス部

第79回関東合唱コンクール「銀賞」受賞

ソフトボール部

県高校女子新人ソフトボール大会 ベスト8

バレーボール部

静岡県高校総体バレーボール競技大会 第3位

サッカー部

全国高等学校総合体育大会 優勝

全日本高校女子サッカー選手権全国大会 優勝

バスケットボール部

高校総体静岡県大会

ベスト16

柔道部

全国高等学校総合体育大会 個人の部 3階級 出場

全国高等学校柔道選手権大会 個人の部 48 kg級 出場

52 kg級 第3位

63 kg級 出場

(4) 藤枝明誠高等学校

知・徳・体のバランスのとれた人間を育成し、次代のリーダーを育てることを教育の指針とした。

- ・ 「知育」では、国際化・情報化社会をリードする高い教養と感性を習得させる。
- ・ 「徳育」では、道德心と正しい判断力を育成し、豊かな人間性と人格を養う。
- ・ 「体育」では、健やかな心身と夢やころざし実現への強い精神力を培う。

ア 普通科

4年制大学を目指す学科であり、2年次から総合コース(文系)と理数コース(文系・理系)の編制になる。1年次では週のうち2日は7時限、土曜日は隔週3時限の授業を行い、大学進学に向けた教科指導を行った。

【総合コース】

2～3年次では、学習と部活動の両立を図らせつつ、週5日6時限、土曜日隔週3時限の授業を行い、大学入試に対応する学力を習得させるとともに、部活動においては全国大会等の各大会で活躍できる水準の実力を身につけさせることを目指した。

【理数コース】

2～3年次では、上位の大学への進学を目指しながら部活動にも打ち込めるように、週3日7時限、土曜日隔週3時限の授業を行うとともに、文系と理系の類型別カリキュラムにより学習させ、国公立大学・私立大学のいずれにも進学できる高い学力の養成を目指した。

イ 英数科

難関国公立大学・私立大学進学を目指す学科(内部進学する中高一貫生の2クラスを含む)であり、1年次より英数コースと国際教養コースの2コース編制としている。英数コースでは2年次から文系・理系の類型別のカリキュラムにより学習している。

【英数コース】

- ・ 3年間を通して週5日7時限(令和4・5年度入学生)、土曜日隔週3時限の授業により豊富な学習量を確保している。なお、令和6年度入学生から、オンデマンド教材、オンライン授業の積極的な活用により、授業は週3日7時限、土曜日隔週3時限とした。

- ・英語、数学を中心に密度が濃い授業や個別指導を行った。
- ・各学年に選抜クラスを1クラス設置し、高い水準の学習指導により難関国公立大学・私立大学や医学系大学の入試に対応できる学力を養成した。
- ・藤枝明誠中学校より内部進学する中高一貫クラスでは、6年という時間的な利点を生かし、ゆとりをもって高度な内容の学習を行い、難関国公立大学・私立大学、医学系大学の入試に対応できる実力の養成を図った。

【国際教養コース】

グローバルな視点に立って行動できる人材の育成を目指し、3年間を通して外国人教員による授業やオンライン英会話の導入などにより高い英語力を習得させ、国際関係・外国語系大学への進学を目指している。

また、地域社会が抱える課題の発見・分析、解決方法の策定、事業構想の作成・発表といった一連の活動を通して、事業構想の実現に必要な知識やスキルを知り、学ぶことの重要性を再認識させることを目的とする「地域課題解決教育プログラム」を導入している。

○ 進路(合格)の状況(過年度生を含む)

国公立大学

北海道大1 東北大1 大阪大1 帯広畜産大1 北海道教育大1 秋田大1
山形大1 茨城大1 横浜国立大大1 富山大2 山梨大1 静岡大13 岐
阜大1 豊橋技術科学大1 島根大1 宮崎大1 鹿児島大1
釧路公立大5 宮城大1 群馬県立女子大1 高崎経済大1 横浜国立大1
新潟県立大1 富山県立大1 都留文科大4 長野大1 長野県立大1 静岡
県立大10 静岡文化芸術大1 滋賀県立大1 福知山公立大1 兵庫県立大
1 下関市立大1 北九州市立大1 名桜大1 など64名

私立大学 569名

早稲田大2 慶應義塾大1 東京理科大3 明治大7 青山学院大3 立教大
2 中央大6 法政大5 学習院大1 関西大3 関西学院大4 同志社大1
立命館大1 関西医科大1 聖マリアンナ医科大1 国際基督教大1 國學院
大4 明治学院大9 日本大9 東洋大6 駒澤大5 専修大18 神奈川大
7 愛知大6 中京大4 名城大6 京都産業大15 近畿大4 甲南大1
竜谷大7 など569名

他に短期大学 6名 専門学校17名 留学準備3名 就職7名

○ 部活動の実績

サッカー部

高円宮杯 JFAU-18 サッカープリンスリーグ 2024 東海 第4位

バスケットボール部

令和6年度全国高等学校総合体育大会 ベスト8

ウィンターカップ 2024 ベスト 8

第 71 回東海高等学校総合体育大会 準優勝

第 38 回東海高等学校バスケットボール新人大会 優勝

陸上競技部

令和 6 年度全国高等学校総合体育大会 男子 800m ベスト 8

第 71 回東海高等学校総合体育大会 男子砲丸投 優勝

同 男子 800m 第 3 位

第 26 回東海高等学校新人陸上選手権大会 男子 5000m 第 2 位

チアリーディング部

ICU World School Cheerleading Championships2025 第 1 位

第 16 回全国高校第 14 回全国中学ダンスドリル冬季大会 第 2 位

チアリーディング&ダンス選手権全国大会 2025 高校編成 Show Cheer 2 位入賞

射撃同好会

第 22 回春季東海地区高等学校ライフル射撃競技大会 BR60WJ 第 3 位

(5) 藤枝順心高等学校附属幼稚園

「強く、明るく」の精神を踏まえ、幼児一人一人の発達の特性に応じ、様々な遊びや生活体験を通して、心身ともに健やかな成長発達を図ることを目指した教育活動を推進する。

【教育内容】

「健康」＝たくましい心と体を育て、自ら健康で安全な生活を送ろうとする態度を培う。

- ・運動遊びの指導を充実し、マラソンやチャレンジウォーク・園外保育を通して体力向上を図る。
- ・年長の最後に「1km を走り切る」「逆上がり」「跳び箱での開脚跳び」「マットでの前転・後転」ができるよう、2 歳&満 3 歳から計画的かつ段階的に体力技能の向上を図り、「長い距離を走る」「鉄棒を楽しむ」「跳び箱を楽しむ」「マットを楽しむ」取り組みをする。
- ・子どもの運動遊びに適した環境の整備を進める。
- ・友だちとのかかわりの中で、安全な生活に必要な習慣を身につけさせる。
- ・野菜栽培や簡単な調理体験、給食を通して、食への関心や意欲を高める。

「人間関係」＝周囲の人々と親しみを持って生活する中で、自立心を育て、人と豊かに関わる力を養う。

- ・幼児期にふさわしい道徳性の芽生えを培う指導を充実する。
- ・一人一人の個性を生かした集団を築くとともに、友だちとかかわる力を育てる。
- ・「自分が大切にされている」と子ども自身が実感できるような接し方に心掛け、人に対する信頼感や思いやりの気持ちを養う。
- ・様々な人々と交流し、人と関わる楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにする。

「言葉」＝言葉で表現したり話を聞こうとしたりする意欲を育て、言葉に対する感覚や表現力を育てる。

- ・自分の思いを伝えることや聞くことを意図的に計画し、語彙を増やし、豊かに表現できるようにする。
 - ・ゆとりを持って子どもの話を聞くことにより、言葉で伝える喜びを味わえるようにする。
 - ・絵本を通して文字に触れる機会を設け、文字や言葉に対する興味や関心を育てる。
- 「表現」＝自分の思いや感じたことを、様々な方法で表現することを通して、豊かな感性や表現力を育てる。
- ・絵画「Happy Art」や発表会「劇、ダンス」運動会「マーチング、ダンス」を通して子どもが豊かに描く、歌う、演じることで豊かな感性や表現力を育てる。
 - ・日常の保育の中で、子どもが様々な方法で表現することを楽しめるように支援する。
 - ・様々な活動の中で生まれる子どもの思いや工夫を受け止め、表現に生かせるように支えていく。
- 「環境」＝周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ち、知ろうとしたり深めたりする態度を養う。
- ・プランターや畑での野菜や花を育てること、また魚や虫を飼育することにより、親しみを持って接し命の尊さに気付き、いたわりの心を育てる。
 - ・子どもの関心を呼び起こす環境設定に心掛け、好奇心や探究心を高める。

【預かり保育事業】

保護者（母親）が働くなどの理由で、家庭の保育が出来ない園児を、保育時間の前後や長期休業中に保育した。（通年預かり保育、随時預かり保育）

平成 30 年度から 2 歳児を対象としたプレ保育(預かり保育)活動を展開している。

同年 7 月から預かり保育専用棟(鉄骨造 2F 建 618 m²)を設けて事業実施。

【体操教室の開設】

平成 29 年 4 月から、明誠高校スポーツクラブの協力を得て、保育時間帯の体操教室を開設するとともに、保育時間外の「げんきっこクラブ」も合わせ実施し園児の体力の向上に努めている。31 年 4 月度から保育時間外の「サッカー教室」を追加開設した。

【英語教室の開設】

平成 29 年 4 月から、柴田マリアン講師(順心中学校英会話講師)の協力を得て、保育時間内の英語教室を開設、あわせて保育時間外にも、希望者を対象として英語教室を開催、英語によることば遊びなどを通じて、英語に慣れ親しむことにより小学校英語教育に繋げるとともに、幼児にとって英語をより一層身近なものとしている。